

## GIGA 端末活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属中学校：指導者：吉澤 隆

教科・領域等	学年	単元名・題材名等
外国語（英語）	1 学年	The Way to School （SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 PROGRAM 6）

### 1. GIGA 端末活用のポイント

#### （1）本時の目標

Think の本文の内容を自分の言葉で相手にわかるように伝えることができる。

#### （2）活用アプリ

ロイロノート（シンキングツール、動画撮影機能）

#### （3）GIGA 端末以外で利用した機器

パソコン、プロジェクター

#### （4）アプリの活用場面と目的

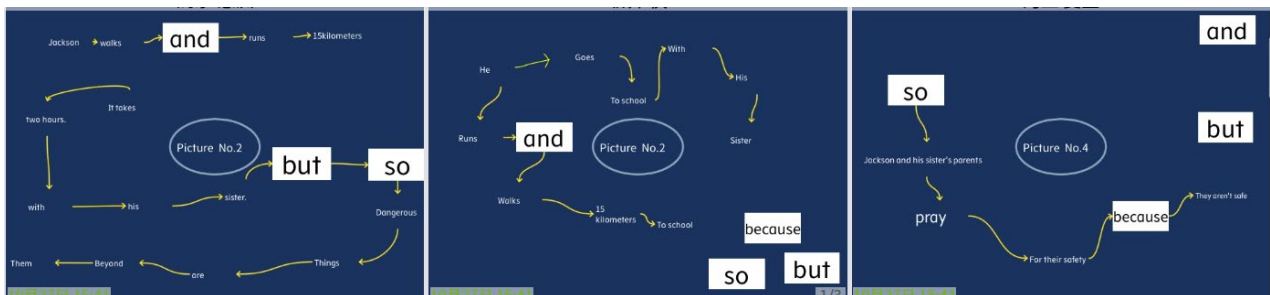
オンライン  オフライン

#### 授業での活用場面（授業概要）

教科書の Think の本文の内容を自分の言葉で相手にわかるように伝える活動において、ロイロノートのシンキングツールを用いて、教科書の本文から選択したキーワードをマッピングしながら伝える内容を整理させることで個別最適な学習活動の実現を目指した。また、本文の内容を相手に伝える際の視覚資料として用いたり、次回の活動に生かすために自分が話す様子を録画したりすることなどにロイロノートを活用した。

### 2. GIGA 端末活用の画面例（写真等）

教科書の本文から選んだキーワードを「選択する」→「並べ替える」→「つなげる」



作成したマッピングを視覚資料として提示しながら相手に伝える→録画をして次回に生かす



### 3. 効果と課題

#### (1) GIGA 端末 (アプリ) を活用して効果的だった点

一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input checked="" type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

まずは、ロイロノートを通して本時に使用するシンキングツールを一斉に提示できることが紙ベースでの配付に比べて時間の短縮につながる。また、今回は生徒一人ひとりが教科書の本文の中で自分が相手に伝えたい場面を選択し、その場面の内容を伝えるために必要なキーワードを選択していくという個に応じた学習活動を実現できた。そして、教科書の内容を相手にわかりやすく伝えるために、ロイロノートのシンキングツールを用いて、選んだキーワードを並べ替えたり、つなげたりする学習活動を行った。生徒は必要に応じてつなぎ言葉を用いながらマッピングを作成することができた。この学習活動を通して、生徒の思考を深めることができたと感じた。作成したマッピングをもとに相手に伝える活動を行う際には、ロイロノートの撮影機能を用いて動画撮影を行った。撮影した動画は記録として残すことができ、生徒自身が活動の振り返りに活用して、次回同じ活動をするときにその反省を生かすことができるという利点や、教師側にとっては生徒のパフォーマンス評価として活用できるという利点があると感じた。

#### (2) GIGA 端末 (アプリ) を活用して課題に感じた点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

マッピングをもとに教科書の内容を相手に伝える活動を行った際に、どうしても端末の画面に集中してしまい、相手とアイコンタクトをとって相手が話の内容を理解しているかどうかを確かめるといった相手意識を持たせることが難しいと感じた。また、生徒が作成したマッピングは相手に伝える際の視覚資料になるという利点がある一方で、相手は教科書の内容を聞き取るというよりもマッピングされたキーワードを読んで理解するということになってしまうというデメリットがあるとも感じた。